

## 平成17年度 第3回平田地域協議会 会議記録

日 時 平成18年3月3日(金)午後1時30分～4時20分

場 所 平田総合支所 大会議室

出席委員 13名

1号委員 石黒一喜、阿籬 勝、阿部時男、石黒 均、石川敏行、高橋絹子  
菅原律子

2号委員 佐藤富雄、佐藤さく子、太田美佐子、小林隆逸

3号委員 佐藤達也、富樫文雄

欠席委員 1号委員 丸山賢治

3号委員 佐藤良二

職 員 平田総合支所長：佐藤富雄、地域振興課長：齋藤啓一、市民福祉課長：石黒吉春、市民福祉主幹：久松勝郎、建設課長：鈴木良寿、産業課長：前田茂実、平田教育振興室教育振興主幹：結城眞理、地域振興課地域振興主査：佐藤良広、地域振興課地域振興係長：後藤学、企画調整課地域振興室調整主任：齋藤 徹

傍 聴 者 なし

### < 次 第 >

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 平田総合支所長あいさつ

4. 会議録署名委員の選出

5. 意見交換

(1) 旧酒田市のコミュニティ組織の現状について

(2) 合併後の地域振興及び課題について

(3) その他

経営所得安定対策等大綱について

第3期介護保険事業計画について

国民健康保険税について

南平田小学校の校歌、校章について

生活交通バスについて

18年度の平田地域協議会の日程(案)について

6. その他

・地域政策フォーラムの開催について

7. 閉 会

1 開 会 ... 進行を務める齋藤地域振興課長が開会する。

2 会長あいさつ（小林隆逸会長）

三寒四温、春に向っている季節を感じる。先頃、英国のエコノミストが「日本の経済に復活の兆しが見える」と、少子高齢化などで内向きな日本経済にも、中長期的に回復の兆しにあることを予言された。合併は、ある種経済の論理で出発したものであり、酒田市でも議会が開催中であり、行財政の改革はこれからさらに細かく、厳しく議論が進んでいこうと思っている。

さて、新市の行財政改革プラン推進委員会に太田委員と一緒にこれまで2回出席した。市議会議員の方も5名いる。「市民的な立場で発言を」とは言われるが、総論はともかく各論になるとなかなか分からないもので、なかなか議論の視点が定まらず、事務方にはどこにどういう問題があるかなど、つまびらかにして、委員が議論しやすいようにしてほしいとお願いしている。

この会も、それぞれの立場で、またより良き審議、自信をもった審議ができるよう、事務方にも率直に内容を提示していただきたい。そうすることで、忌憚なく話ができるものであろうし、事務担当の方々からもよろしく願いたい。

3 平田総合支所長あいさつ（佐藤平田総合支所長）

合併して4か月となった。不安の声が不満にならないよう職員も対応しているが、何かお気づきの点があれば申し出ていただきたい。

現在、市議会が開会中である。後ほど説明も加えるが公共料金が増になるものや、10月31日での17年度の平田町の打切り決算、また補正予算等の対応などを審議している。

18年度予算では、減額されたものもあれば懸案事項もあるが、地域づくり予算も含め、ほぼ建設計画、過疎計画のとおり予算に反映されたと認識している。その中で小林温泉の改修事業が実施計画でBランクとなり、18年度の予定から19年度となり、事業内容の精査を求められている。また、六ヶ村排水事業については20万円の調査費を計上された。新市の中の土地利用計画など議論、茨野排水や最上川への放流などの十分な調査研究をすすめ、支所として新市の総合計画に合わせて、平田の位置づけをしっかりと求めていきたい。

今回は第3回の協議会で、コミュニティ組織について意見をいただきたい。日本全体が中央から地方へ、官から民への流れにあり、その根本に財政問題があるのは間違いない。行政のスリム化は避けておれないことで、行政依存の地域づくりはあり得ず、これからは、できることを地域で担っていく必要があり、そのためにコミュニティ組織が重要である。ご理解をいただき、ご意見を願いたい。

4 会議録署名委員の選出 ...（阿籬 勝委員を選出）

5 意見交換

（1）旧酒田市のコミュニティ組織の現状について ...（地域振興課長説明）

< 主な意見 >

委員 コミュニティ振興組織を立ち上げるのに時間的制約はあるのか。

地域振興課長 松山は今年度に検討して、19年度からスタートと考えているようだが、平田は難しいと思われる。今の組織を否定するものではなく、これまでの歴史をふまえながら新たなスタートをする方法もあると考えている。

委員 公民館体制の再編が絡んでくると考えられるが、自治会の統合はどう考えるのか。

地域振興課長 自治会の統合は考えていない。

委員 平田は10分館制度であり、1分館400戸からなるところもあれば、1分館100戸以内の地域と多様であり、その統合や合理化が絡んでくる。

委員 八幡、松山が進めやすいのは、公民館地区が4つと少なく、それぞれ独立した公民館であるからだと感じる。平田の場合は、10分館をまとめることをワンステップとしたほうが進めやすいのではないか。

地域振興課長 10の振興会にする方法もある。市としては小学校区単位を最終的な形として考えているようなので、その後に、統合した振興会を作る方法も考えられる。

委員 山間部に住んでいるが、地形的にも善し悪しはあるが閉じこもってきた。戸数も少なくなり、自治会自体も維持が難しくなり将来的には統合が必要であるが、平野部と違って統合することは地形的に困難に思える。1年では決定できないし、住民との話し合いは十分時間をかけてほしい。個人としては懐疑的である。

委員 旧酒田市は自治会長、旧3町は区長で、自治会長のほうが上に聞こえるので、名称の統一から進めてはどうか。

総合支所長 自治会長は特別職でなく協力員を委嘱している。旧3町の区長は特別職の委嘱をしている。

委員 分館単位であれば比較的スムーズにいくと思うが、小学校区単位にすると、南平田小と東陽小の統合により、田沢との2学区になってしまう、コミュニティとしては成り立たないと考えられる。

委員 松山などの方向もあり平田として検討していく必要はあるだろう。しかし、なぜ再編しなければならないのか。現在の地区（自治会）と分館で良いのではないか。

地域振興課長 旧酒田市で実施している方法が、自主自立で上手くいっているの、旧町にも設置していきたいということである。これから話し合いを重ねて一番良い方法にしていきたい。

委員 社会福祉協議会では学区体系にしたいということで検討しており、小学校の統合で2学区ということになっている。しかし、旧酒田市の上田地区のように学区ではなくなったが振興会は残した例もあり、10分館を基本にした振興会を作り、連合的な組織にしていくことも考えられる。数的には八幡、松山の4つに合わせていくことも考えられる。

委員 コミュニティ組織化をやっていきたいことは理解するが、それぞれの自治会の区長の役割や任務はどうなるのか。

地域振興課長 39地区（自治会）は変わる必要はない。分館のあり方が課題になると思っている。

委員 10分館を統合することで、事業を実施するうえで人手が増えてやり易くなり、不安がなくなるという面もあると思う。

委員 この会での考えをまとめていくことも必要だが、区長会などでも検討を願いたい。

総合支所長 旧酒田市を例として、2～3案を示して議論することで如何か。次回まで案を整理してみる。

委員 連合体で少なくとも300から400戸にしないと維持は難しい。この辺を踏まえた案を出していただきたい。

委員 会議に出ると、全て酒田に倣いなさいという感じがしてならない。もっと住民の気持ちを大切に、支所の方からも本所に意見を伝えてほしい。

地域振興課長 平田の伝統や10分館という独自性を考慮して、新たな形を作れたらと考えている。平田地域のやり易い組織を検討していきたい。

委員 公民館連絡協議会は今まで、各分館からの負担金と町からの補助金で運営してきた。しかし、来年度からは、補助金が出なくなっても、各分館の負担金額を増やして維持していこうという検討になっており、公的組織から離れて自立していくという手もある。

## (2) 合併後の地域振興及び課題について

地域振興課長 合併してから5ヶ月目に入った。地域や自分が思っている合併に対する不安や不満などの意見があればお願いしたい。

### <委員からの主な意見>

委員 山間部のADSL回線をお願いしたい。現在のISDNでは情報化についていけず、NTTにも苦情を出しているが進まない。全国でADSLもできないところは1～2%と聞く。行政での対策も講じてほしい。

地域振興課長 ADSLには52局は対応しているが54局は対応していない。通信業者から、時期は明言できないが努力しますという旨の回答をいただいている。後継者の定住のためにも重要だと認識しており努力していく。

委員 無理だと言われていた携帯電話の鉄塔が楯山に整備されている。進め方や頼み方を市としても研究すべきである。

委員 婦人会等の会議で、町民憲章の唱和や町民歌を歌ってきたが、町でなくなり使えなくなって困っている。

地域振興課長 現在、新市の市民憲章を検討中である。

委員 健康診断の受診率は旧3町の方が良い。旧酒田の人が「検診の受診調査が直接届いてサービスが良くなったと話しているのを聞いて、合併により3町の良いところが取り入れられた面が見えた。平田では地区での回収から郵送になったことで、受診率に影響は出るかもしれないが、検診は基本的には個人対応であり、しょうがないのかなと思う。また、これまで平田町では70歳以上になると受診できなかった人間ドックが、新市では年齢制限がなくなり良かった点もある。

健康福祉主幹 旧平田町では、検診の受診調査の回収は地区をお願いしていたが、今年から個人への郵送になり、回収率に影響が出るのが気になっている。19年度以降は、地区の福利厚生

一環として受診率向上のため、責任を持って回収するという地区があれば、地区での回収が出来るように検討したい。

委員 最近、不審者による事件があったし、増えている。町では関係団体からなる青少年育成協議会を設置してきて成果を上げてきたが、合併によりなくなった。行政主導ではあったが各団体の協力により続けていくことは大事であり、市としてのそういったメニューは無いのか。支所として早急にやらなければならないのでないか。

教育振興主幹 酒田市教育委員会の学校教育課で、組織の立ち上げを検討中である。

総合支所長 現在、学校を中心に頑張ってもらっている。新年度にその対応のため情報提供システム関係の予算がついたとも聞いている。「見守りネット」だけに頼ることなく、防犯協会の会員である区長や子供110番などへの情報提供を教育委員会にも要望したい。支所としては、防災無線も活用したい。

委員 検討中とのことだが、早く進めていただきたい。NPOなどもっと強力な組織をつくる必要がある。

委員 合併して横のつながりが悪い。教育行政などは、特に生活圏での有機的な連携が必要である。民間でも出来ることからやっていきたい。

委員 国有林内の林道の災害復旧に手をつけられていない。森林管理署も鶴岡に統合になり、どこに話をすればよいのかわからないので、市からお願いをしていただきたい。

産業課長 国も財政的に厳しく、特に森林管理署は厳しいようである。ご指摘の箇所は併用林道でもなく市としての権限が及ばないが、お願いはしている。

委員 社会教育委員や青少年育成推進員など、新市で再構築されると思うが、情報もなく少し混乱しているようだ。どうなっているのか。

教育振興主幹 平田町で委嘱していた非常勤特別職は合併で失職し、合併後は新市の非常勤特別職が委嘱されている。ただし、4月1日以降に委嘱するとしたものもある。

委員 民生児童委員はどうなっているのか。

健康福祉主幹 民生児童委員は、次回平成19年11月に改選されるが、それまでは現在のまま24人になっている。次回改選後は、人口規模により委員数も減ることになる。

委員 温泉は平田のイメージアップになった。庄内地方には経営が困難になった施設もあるようだ。施設の修繕などは、早め早めの対応で良好な状況を維持して欲しい。

委員 平田地域の除雪はきれいであるが、南平田小学校の冬期間のスクールバスが無くなるといううわさがある。今年のような場合、雪の壁が高く、地吹雪となると子供たちの通学が危険であり、対応をお願いしたい。

教育振興主幹 南平田小学校の冬期間のスクールバスについては、平成18年度は継続することになっている。

### (3) その他

経営所得安定対策等大綱について …………… 前田産業課長

特に意見なし

第3期介護保険事業計画について …………… 久松健康福祉主幹  
特に意見なし

国民健康保険税について …………… 久松健康福祉主幹  
特に意見なし

南平田小学校の校歌、校章について …………… 結城教育振興主幹  
特に意見なし

生活交通バスについて …………… 前田産業課長  
委 員 中野目のバス停留所は、十字路のところで良いのか。三之宮とも関連するが再考をお願いしたい。

18年度の平田地域協議会の日程(案)について …………… 佐藤地域振興主査  
委 員 平田地域出身の議員との打ち合わせ会議を設けるか検討してほしい。  
小林会長 区長会でも検討している。今後検討したい。

## 6 その他

・地域政策フォーラムの開催について …………… 佐藤地域振興主査

## 7 閉 会